

「物心ついたときから薬剤師になりたかった」。こう話すのは薬剤師として和歌山の調剤薬局で働く西岡朋さん。実家や身近にも薬剤師関係者がいなかったにも関わらず、ぼんやりと薬剤師として働くことを思い描いていたという。高校時代の進路希望では「薬学進学」は決意に変わっていたという。福岡の大学を卒業後、実家のある和歌山市にUターンし地元で就職。今年で8年目に突入、既に中堅クラスの薬剤師として仕事をテキパキとこなす毎日だ。

地元に戻り病薬も経験

西岡さんが勤めるのは和歌山市に7店舗、海南市に2店舗を構える「第一薬局」。現在勤務する店舗は、近隣の心療内科や内科診療所を中心に処方せんを応需しており、薬局長の伊沢一博さんと2人で対応している。

仕事内容は調剤薬局としての一般的な業務だが、心療内科の患者さんが多いため、一般の患者に比べて気を使う場面が多いという。

ただ、一般的に心療内科では、患者1人当たりの診療時間が比較的長いこともあり、その処方せんが一時に集中するというのではなく、その分、服薬指導に時間をかけることが可能だという。

いずれにしても「初めからしゃべってくれる患者さん、何度か来局するうちに打ち解けてくれる患者さんもいる。また、打ち解けて

いたはずなのに、急にしゃべらなくなってしまうこともある」と、相手が心療内科だからといって、特に患者対応に基本的な違いがあるわけではないという。

一方で、心療内科の患者は急性期の患者と異なり、診療が長期にわたることも多い。そのためか「薬のこともよく知っておられる方、あるいは自ら進んで調べる方も多い」という。「こちらと一緒に勉強させてもらっています」と謙遜しつつ専門家の立場から“支える”重要性を指摘する。

西岡さんによると、患者は診察時にドクターには言えないことを、薬局にきて薬剤師に話すことはよくあるそうだ。もちろん、必要に応じてドクターには「患者情報」として、フィードバックしている。内容によって、判断が難しいケースでは、直接ドクターに聞きに行くこともありフットワークは軽い。さらに時間外については、患者サービスの一環で、



テキパキと仕事をこなす西岡さん

私の職場

第一薬局海南駅前
(和歌山市)

西岡 朋さん

問い合わせ用の携帯電話を“携帯”しており、「オフタイムであっても薬剤師」ということだ。

ところで西岡さんは、和歌山市内で病院薬剤師業務の経験をもつ。実は卒業してすぐに市内のある調剤薬局に2年ほど勤めたが、「注射薬の理解を深めたい」と考え、病院に4年間勤務。その後、再び薬局に戻ろうと考え、06年の2月、現在の薬局に入社した。現状では“注射薬調剤”の知見・経験を十分に生かす機会には恵まれていない。ただ、今後、薬局と在宅医療との関わりが、より密接になることは明らかであり、その「力」を発揮することは遠い将来ではない。

西岡さんは、病院薬剤師の経験があるだけに、現在の環境ではカルテを見ることができず「病名が分からない」「広く面分業で処方せんを受けているとドクターの顔が分からない」と、情報収集の苦労を実感する面もある

オフタイムであっても薬剤師



西岡さんと薬局長の伊沢さん(店舗の前で)

が、「毎日多くの人に接し、身近に話ができる」ことは、やりがいにつながっていると語る。

薬剤師会活動で広がる輪

西岡さんは4～5年前から当時の薬剤師会のメンバーに声をかけられ、和歌山市薬剤師会の仕事も手伝うようになった。現在では、月2回実施する研修会の企画・運営を行う「研修委員会」、休日・夜間応急センターへ出務する薬剤師のシフトを組む「応急センター委員会」、学生の実務実習受け入れ体制の整備を進める「薬学生実習委員会」の委員を務めている。各委員会メンバーとの会合、あるいは休日・夜間応急センターへ出務する際、初対面の薬剤師とも一緒に働く機会もあり、「人と触れ合える機会が増えて、(薬剤師会の仕事を)やっていた良かった」と、通常の薬局勤務だけでは得られない人の輪の広がりを実感するという。

さて、和歌山では依然として薬剤師不足の状況に変わりなく、他県からの就職が少ないというのが現状。西岡さんのように卒業後すぐにUターンで地元就職するケースも少ないようだ。しかし、西岡さんも関わる研修会の参加状況をみていると「最近はずいぶん20代や若手も増えてきている」と、明るい兆しが見えつつあるようだ。

最後に「ただ単に資格を取って、流れに任せて働くのでは仕事も面白くないはず。診療所・病院のドクターや看護師などスタッフとも密接に連携し、町中でチーム医療が実践できれば」と抱負を語る。西岡さんはその実践に向け薬局業務、薬剤師会活動にと忙しい日々を送っている。

3年生になったら CanPass*Net

キャンパスネット



✓ キャンパス*ネットに登録する

✓ 先輩・同学年から生情報を得る

✓ キャリアプランの出来あがり

(キャンパス*ネットは先輩が就職活動で最も利用した情報源です。)

「就職情報誌」は、大手・人気企業の就職DATAや業界情報を1冊に集約。

「企業合同就職セミナー」は、採用担当者や先輩薬剤師との交流をコンセプトに。

「インターネット」では、最新の企業情報やコミュニティで人脈を拡大。

就職DATA
ハンドブック
CanPass*Net (2008年版)

この秋発刊!

医療系学生のソーシャルネットワーク

<http://canpass.net>

キャンパス*ネットは(株)グッピーズにより運営されています。

GUPPY 株式会社グッピーズ
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-13-12 西新宿昭和ビル5階 TEL 03-5908-3880 info@canpass.net

